



りくぜんたかた

市議会だより

第3回定例会
令和7年

- 気仙小学校稻刈り体験

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより編集小委員会

No.134

発行日
令和7年11月5日

議員提案による



こども
基本条例
を可決

本条例は、子育てや教育等、こどもに関する取り組みの方向性を示す理念条例です。地域全体で子育てを応援するまちとするため、教育民生常任委員会より「陸前高田市こども基本条例」が発議され、全会一致で可決されました。

市・保護者・学校等関係者・地域住民・事業者・議会の役割を明らかにし、こどもが安心して健やかに成長できる社会の実現を目指す内容です。



条例の詳細は
こちら

この条例では

こどもの成長を社会全体で支える環境を整えることで、こどもが希望を持ち、安心して健やかに成長できる社会の実現を目指します。



01 Point!!

すべてのこどもの権利を大切にし、安全で健康に暮らせる環境を地域全体でつくります。

大切な3つの考え方

02 Point!!

地域行事やおまつり、伝統芸能など、こどもがいろいろな経験や学びを得られる環境をつくります。

03 Point!!

こどもの得意なことや興味関心にあわせて可能性を最大限広げられるよう支援をします。

これらの考え方を踏まえて



市議会では、条例制定にあたり、市内小中学生へのアンケートや、保護者のみなさんや各関係団体、市民との対話を重ね、こどもに何が必要かを考えました。それが“役割”を持ち連携して取り組みを進めていきます。

例えば…

市の役割

- こどものための取り組みを広く周知します。
- 事故や災害からこどもを守るために必要な取り組みを進めます。

議会の役割

- こどもに対する取り組みについて調査します。
- 必要に応じて国や県に働きかけをおこないます。

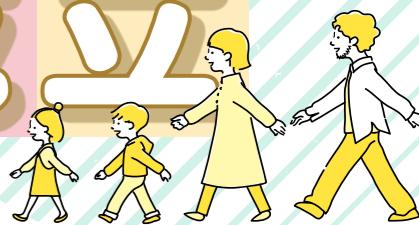
地域の役割

- こどもが安心して生活し、挑戦し、学ぶことができる環境づくりに協力をお願いします。
- 職場体験の受け入れなど、教育活動への協力をお願いします。

事業者の役割

- 従業員が仕事と子育てを両立できるよう配慮をお願いします。
- 職場体験の受け入れなど、教育活動への協力をお願いします。

基本条例成立



令和7年第3回定例会は、9月4日から同30日まで行いました。議員発議により、「陸前高田市こども基本条例」を全会一致で可決しました。

また、同じく議員発議により、「気仙地区の高等学校教育体制維持を求める意見書」を県関係機関へ提出することは、賛成多数で可決し、県教育委員会などに提出しました。

このほか、国道343号新籠ノ田トンネルの早期事業化を求める意見書を国の関係機関へ提出しました。

一般質問には9人の議員が登壇し、高校再編問題、市長公約や物価高騰対策などの市政全般にわたる論戦を開きました。市当局から提出された報告2件、執行前提案5件、条例案6件、補正予算案2件、決算案6件を全会一致で可決・認定しました。

令和6年度決算を認定

令和6年度の本市一般会計は、歳入が前年度比94・7%の174億3215万円、歳出は前年度比95・7%の169億7938万円です。

県教育委員会が8月5日に公表した「第3期県立高等学校再編計画(当初案)」を受け、鶴浦昌也議員他2人が「気仙地区の高等学校教育体制維持を求める意見書」を提出について」を発議しました。意見書は、同計画で示された高田高校海洋システム科および大船渡東高校食物文化科の募集停止・集約化について、地域の基幹産業である漁業・水産業や飲食業の専門人材確保に深刻な影響を及ぼすおそれがあり、受け入れられないため、同計画の早期決定に反対するものです。

本案は9月30日の本会議で採決され、賛成12、反対3の賛成多数で可決されました。意見書の提出先は、岩手県知事、岩手県教育委員会です。



高田高校海洋システム科の教習艇
「北斗」「蒼天」

高校再編案反対の意見書提出

本定例会では請願3件を審査・審議を行いました。
結果は、「国道343号新籠ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は、全会一致で採択しました。(8・17ページ参照)。
また、「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求ることについて、及び「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」を求めることについて」は不採択としました。(8・16ページ参照)。

本定例会では請願3件を審査・審議を行いました。

結果は、「国道343号新籠ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は、全会一致で採

択しました。(8・17ページ参照)。
また、「カリキュラム・オーバー

ロード」の改善を求ることにつ



意見書をご覧
いただけます

教育長・委員の任命に同意

再 教育長 山田市雄氏
再 教育委員 安田留美氏

任期満了にともない、教育長と教育委員の任命に同意しました。

本定例会では請願3件を審査・

審議を行いました。

結果は、「国道343号新籠ノ田トンネルの早期事業化を求めることについて」は、全会一致で採

択しました。(8・17ページ参照)。
また、「カリキュラム・オーバー

ロード」の改善を求ることにつ

いて、「訪問介護報酬の引き

下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」を求める

ことについて」は不採択としました。(8・16ページ参照)。

また、「カリキュラム・オーバー

ロード」の改善を求ることにつ

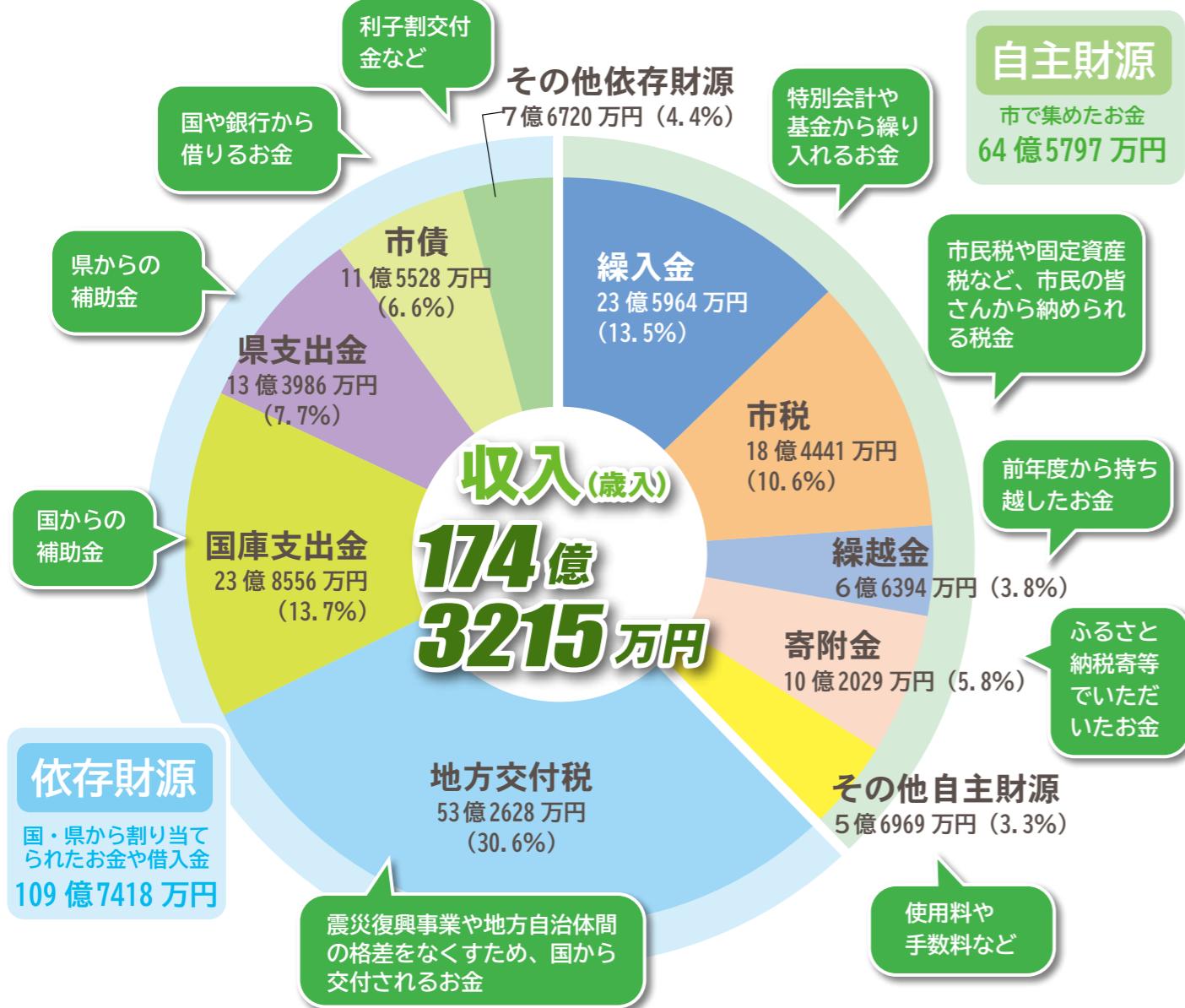
いて、「訪問介護報酬の引き

下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」を求める

二又地区3施設を集約へ向け整備

一般会計歳出
169億7938万円

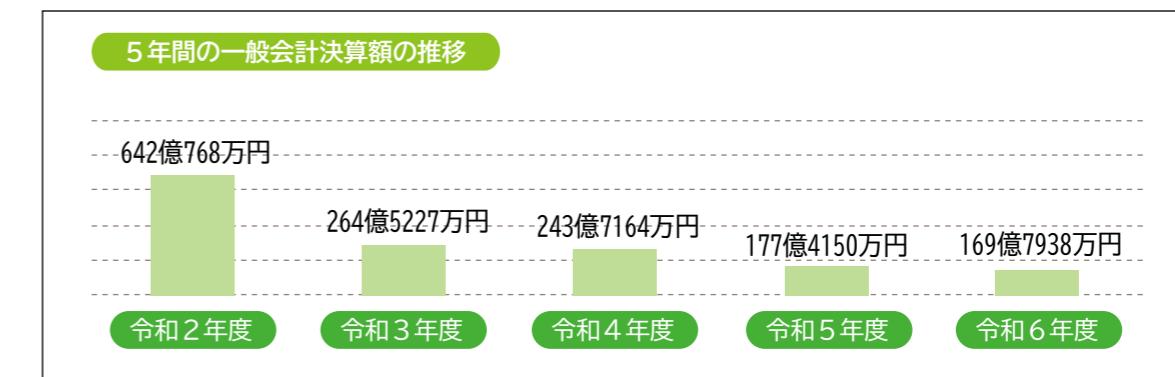
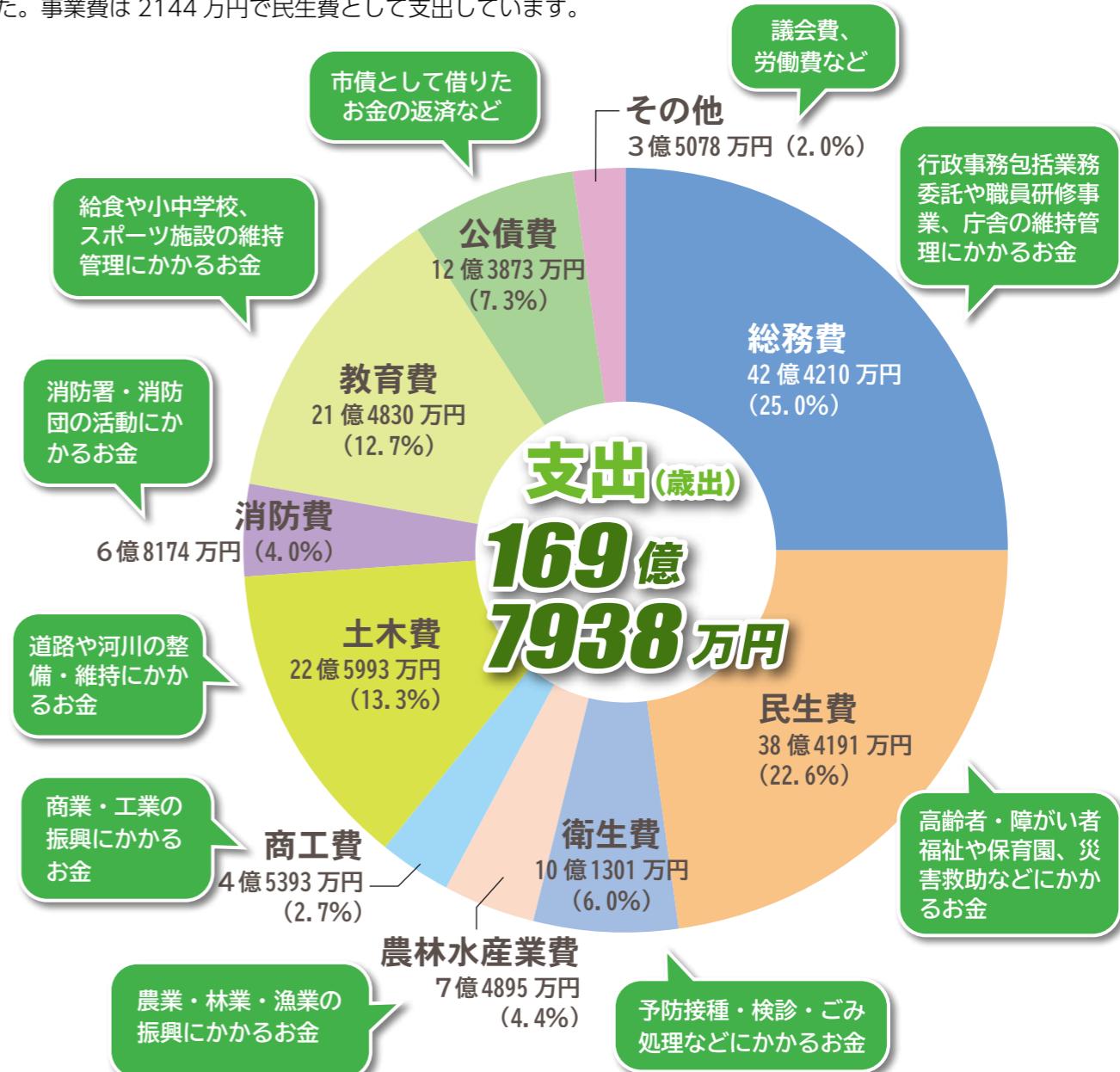
令和6年度の一般会計決算は、歳入額が174億3215万円、歳出額が169億7938万円。歳出額は、令和5年度と比較し、7億6213万円、4.3%の減となり、歳入から歳出を差し引いた残額は4億5277万円でした。



会計区分	一般会計	特別会計		
		国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
歳 入	174億3215万円	22億657万円	2億8371万円	26億978万円
歳 出	169億7938万円	21億8497万円	2億8371万円	24億3982万円
翌年度へ繰り越すべき財源	1億483万円	0円	0円	0円
実質収支額	3億4795万円	2160万円	0円	1億6995万円

会計区分	水道会計		下水道会計	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
収 入	5億9054万円	3億44万円	10億5765万円	7726万円
支 出	5億3646万円	4億9592万円	7億1681万円	4億4091万円

令和6年度は、矢作町二又地区的コミセン・診療所・消防屯所の施設集約のため、旧矢作小学校校舎の解体事業などを実施しています。工事費は2億4351万円で総務費として支出しています。また、大船渡市で発生した大規模林野火災に際し、支援物資の購入や避難者を受け入れた宿泊施設に補助金を交付するなどの支援を行いました。事業費は2144万円で民生費として支出しています。



決算審査 質疑

決算等特別委員会



ここが
聞きたい



大坂 俊 委員長

令和6年度の一般会計及び各種特別会計の決算案は、本定例会会期中の決算等特別委員会（大坂俊委員長）で4日間の審査をしました。

その中から質疑の一部を紹介します。



育成中のピーカンナッツ苗木

ピーカン栽培管理委託料
苗木育成の状況は？
問 苗木育成に関する成果は。
答 種子からの苗木と接ぎ木苗育成に取り組んでいるが、これまでに成功したのは1本だけと難しい状況。どこに問題があるか、協定先の東京大学などと連携し精査していく。

商店街活性化支援事業費
チャレンジショップの状況は？
問 入居の問合せ状況は。
答 契約期限により店舗2区画分と飲食1区画分が空く予定で、既にその後の入居について問い合わせがある。現在入居している事務所は1年ごとの契約更新だが、別の場所での営業も考えられるので指定管理者や事業者と相談していく。

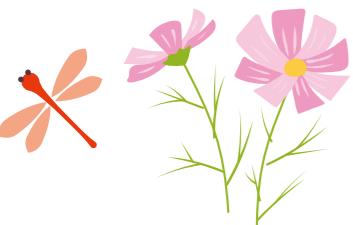


入居の問合せが続くチャレンジショップ（高田町）



魅力化の進む道の駅高田松原

魅力化の進む道の駅の成 果は。
地域力創造専門家派遣業務
道の駅の魅力化は？
問 道の駅専門家派遣の成 果は。
答 季節ごとのマルシェ開催や客の動線を考えた商品棚の配置などを行った。今後は道の駅の魅力向上、売



教育情報ネットワーク推進
校務DXの状況は？
問 デジタル技術を活用して学校業務の効率化や変革を目指す校務DXの状況は。
答 教員のデジタル技術に 対する得手不得 手により学校間 格差がある。学 校のニーズを聞 き、ICT支援 員を増やすこと についても検討 中である。

市営住宅使用料家賃未納への対策は？
問 市営住宅家賃の未納が増えているが対策は。
答 年一回の収入申告や減免申請をしないことで家賃が高額となり、払えなくなることもある。状況に合わせた納付指導に努める。

災害援護資金貸付金債権回収の取り組みは？
問 災害援護資金8200万円が未納だが対応は。
答 これは震災後、金融機関から借入できない人への貸付金なので、回収が難しかることは当初から想定されていた。引き続き国に対して償還期間の延長と償還免除要件の緩和を要望していくとともに、公平性の観点からも返済を求めていく。

ふるさと納税寄附金なぜ減少か？
問 ふるさと納税減少の要因は。
答 一番人気のカキの収量が減ったことが大きい。一次産品は天候などの影響を受けやすいので、その確保に向けて担当課とも連携を取り組む。コメや缶詰など新しい返礼品もPRしていく。



ふるさと納税一番人気のカキ

たかたのゆめ推進事業費栽培面積等の減少要因は？
問 たかたのゆめ作付け農家や栽培面積が減少傾向だが要因は。
答 ひとめぼれより概算金が安かつたことが一因。JAへの働きかけを行ってきましたことで、来年度から両銘柄が同額となつた。今後も機会を捉えてPRし栽培を推奨していく。

結婚新生活支援補助金交付実績は？
問 結婚29組に対し3件の交付実績は少ないのでは。
答 今後もPRを強化し、丁寧な相談に努める。夫婦の所得合算で500万円未満という条件についても検討する。



産業振興の課題は

問い合わせや労働者の不足解消



市独自の物価高対策は

まずは国の責任で講じるべき



問 本市の基幹産業は一次産業であるとの認識は市長も共有されていると思うが、今後の方に向うとしたときに考えられる課題は何か。

答 全ての産業における課題として、担い手や労働力の不足が挙げられる。漁業においては新たな機器導入等により生産性の向上が図られれば、さらなる人手不足であっても、経営を改善することができると思われる。農業においては、生産効率の向上や、労働環境の改善が図られることが重要であると考えている。

問 交流人口・観光が地域を支える経済になるとを考えているか。

答 地域内の需要のみで経済を維持・拡大することは困難であることから、大学生や

研究機関、本市と関わりを持つ企業が、地域課題の解決のために本市で活動を展開することは、地域活性化に資するほか、産学官連携による新たな価値の創出にもつながるものと考えており、活動拠点の整備や地元資源を用いた商品開発等を通じて地域に投資する仕組みを構築し、その収益を地域に還元することで、地域経済の循環を生む施策に取り組みたい。



産業振興の力ギは省力化



市独自の物価高対策は

物価高騰対策は、国待ちではなく、市独自の判断はどうか。

問 まずは、国が責任をもつて対策を講じるべきことについている。その代わりのことを行なうと財政が破たんしてしまう。



好評だったプレミアム付商品券

問 物価高騰対策は、国待ちではなく、市独自の判断はどうか。

答 議員の思いはしっかりと受け止めながら今後も努めていく。

問 市内産直への支援はどうか。

答 受け止めながら今後も努めていく。

問 市内産直や直売所の経営改善に向けた検討状況はどうか。

答 産直の場所の移転や再編、施設のリニューアル等について検討を行っている。今後、具体的な対応案を示していく。

うか。

問 県は県道世田米矢作線の改良整備を新規事業化した。市として用地交渉などを支援していく。

うか。

問 生出の道路整備はどうか。

答 県は県道世田米矢作線の改良整備を新規事業化した。市として用地交渉などを支援していく。



おお つばき りょう こ子
(日本共産党)

介護事業所への支援は

助成金や基金活用を検討



こちらから視聴できます

問 訪問介護報酬引き下げで介護事業所への影響はどうか。

答 昨年度、国の介護報酬改定で約2~3%の基準報酬が引き下がった。市内6カ所の事業所へ影響もあるが危険な状況ではない。

問 訪問介護報酬引き下げに相当する減益分として、基金活用等による支援はどうか。

答 助成金の交付や介護給付費準備基金の活用を含め検討する。

認知症の対応拡充は

問 認知症患者とその家族に対する相談体制や生活支援などの拡充は。

答 地域包括支援センターでの窓口で保健師、認知症地域支援推進員等が家庭の様子や困りごとを聞き取り、医療や介護などのサポート体制の情報を案内している。



認知症支援に取り組む「チームオレンジたかた」

震災15年関連事業は

能登半島地震の被災地支援の取り組みはどうか。

答 市職員が珠洲市を訪問し助言を行い、本市が開発や企画に携わった電話を使用した安否確認システムが導入される。

問 来年の大震災津波15年の節目に防災を学ぶ市民的な企画は。

答 市のイベントだけでなく、県の津波伝承館等と連携し企画する。



なか の野 たか のり 德
(日本共産党)

スポーツのまちづくりは

推進計画を進め活性化図る



こちらから視聴できます

問 開催時期が異なるイベントを相互に関連付けし、複数回の来訪を促す取り組みは。

答 スポーツイベントの参加や観戦を目的とした地域への訪問のほか、観光とスポーツを掛け合わせたスポーツリズムに取り組んでいる。

問 スポーツによるまちづくりの取り組みは。

答 第二期スポーツ推進計画の策定を進め、誰もがスポーツに親しめる環境整備や大会・合宿誘致などを推進し、生涯スポーツの振興に取り組む。

地域団体の担い手は

問 市内「ミセン」や自治会などの担い手不足の対策は。

答 多くの団体や組織で担い手不足が生じている。持続的運営のため、現行の体制で実施が難しい事業の見直し、活



力強く疾走する参加者（ツール・ド・三陸）

動範囲の再検討が必要と考えています。

問 旧吉田家住宅が日本の遺産「みちのくGOLD浪漫」に追加認定された。今後の活用策は。

答 見学だけでなく、貸切り使用も可とし各種講座など利用促進を図る。



おお つばき りょう こ子
(日本共産党)

こちらから視聴できます

問 旧吉田家住宅が日本の

答 ポーツに親しめる環境整備や大会・合宿誘致などを推進し、生涯スポーツの振興に取り組む。

問 旧吉田家住宅が日本の

答 ポーツに親しめる環境整備や大会・合宿誘致などを推進し、生涯スポーツの振興に取り組む。

問 多くの団体や組織で担い手不足が生じている。持続的運営のため、現行の体制で実施が難しい事業の見直し、活

總務

基金は将来世代への責任を果たすための重要な財源であり、適切な活用は持続可能な行財政運営に直結します。委員会では、市民や団体、関係課との意見交換を重ね、財政運営の現状と課題を多角的に把握しました。最終的に政策提言としてまとめるには至りませんでしたが、基金活用の在り方に明確な答えを見出すことの難しさを共有できたことは、今後の議論に向けた大きな成果といえます。

このほか、防災やDX推進、結婚支援、民泊体験、脱炭素先行地域など幅広い分

一方で、財政をテーマとした管外行政視察の受入先が見つからなかつたことや、基金に関する説明が市民に伝わりにくかつたことなど、今後に向けた課題も明らかになりました。市民へのわかりやすい情報発信や、調査結果を政策提言へと確実に反映させる仕組みづくりが必要と考えます。

2年間の任期を振り返ると、コロナ禍後の社会変化の中で、市民との対話を重ねながら行政、地域の課題に真摯に向き合つた期間でした。委員会活動を通じ



高田まちなか会との語る会

も出た。

委員長 貴徳
副委員長 村聯
中木 大和田 加代子
藤浦 倉浦 泰治
鶴也

えた議論を深めました。「議会の語る会

新管事務調查

9/4 所管事について

9/25 所管事務調査中間報告について

問 前回定例会では、実行委員会に対し共催協定書に基づき、収支状況の報告を求めていくとの答弁があつたが、

答 極めて重く受け止める。市としては、実行委員会に対し代金の返金を1日も早く行うよう、繰り返し申し入れてきた。

問 中止となつた三陸花火大会のチケット代金の返金が滞るトラブルが発生している。市ではどのように受け止めているか。



三陸花火大会（2023年）



三陸花火大会（2023年）

報告書は受けたが、	本市において花火大会を開催する場合には、実施主体における運営体制の透明性と、収支を含めて健全かつ安定的な実施計画が求められるとともに、市内の公的な団体や事業者などの協力体制の構築が不可欠であると考えている。	地元高校への支援強化は、再編計画を踏まえ地元校への支援をどう進めるか。	高田高校の意向を踏まえることが重要だと考えており、財源を注視しつつ、適切に対応したい。
答	今後、花火大会を開催するための条件は。	問	答

報告書は受けたが、	本市において花火大会を開催する場合には、実施主体における運営体制の透明性と、収支を含めて健全かつ安定的な実施計画が求められるとともに、市内の公的な団体や事業者などの協力体制の構築が不可欠であると考えている。
花火大会を開催するための条件は。	今後、花火大会を開催するための条件は。
花火大会を開催する場合には、実施主体における運営体制の透明性と、収支を含めて健全かつ安定的な実施計画が求められるとともに、市内の公的な団体や事業者などの協力体制の構築が不可欠であると考えている。	花火大会を開催するための条件は。
花火大会を開催するための条件は。	花火大会を開催するための条件は。

市長選時の公約に掲げた
大学誘致の進捗は。

ある大学が正規の科目と
して数ヶ月間の実地調査
をする方向だ。

答 問 答 問

私立大学医学部の奨学金
制度の導入は。

答

公約を掲げた時には認識
していなかつたが、すで
に平成元年に制度が設けられ
ていた。これまで貸付実績が3件
のみ。今後は、この奨学金を周
知し活用していきたい。

立教大学陸前高田サテライト
開所記念シンポジウム



立教大学陸前高田サテライト
開所記念シンポジウム

問 事業規模は今後明らかになる見込みだが、養殖を行つ事業所が10月に免許を取得予定だ。

答 雇用千人創出の進ちょくを数値化できないか。

問 市民にとって達成度が判断しやすい形になるよう、遅くとも次の選挙までに数値化を検討したい。

保護者の送迎負担は認識は。

答 部活動の地域移行に伴う送迎負担について、市の認識は。

答 活動場所を生活圏内に設定したり、公共交通やスクールバスとの連動も有効と考えており、保護者や指導者の過度な負担とならないよう検討する。

問 事業規模は今後明らかになる見込みだが、養殖を行つ事業所が10月に免許を取得予定だ。

答 雇用千人創出の進ちょくを数値化できないか。

問 市民にとって達成度が判断しやすい形になるよう、遅くとも次の選挙までに数値化を検討したい。

保護者の送迎負担は認識は。

答 部活動の地域移行に伴う送迎負担について、市の認識は。

答 活動場所を生活圏内に設定したり、公共交通やスクールバスとの連動も有効と考えており、保護者や指導者の過度な負担とならないよう検討する。

A portrait photograph of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

佐々木 良 麻
(とうほく未来創生)

花火大会開催の条件は 重音本調の又々の透用



こちらから視聴できます

公約である大学誘致は



こちらから視聴できます

産業建設

請願審査

所管事務調査
9/4 所管事務調査中間報告について

請願審査
9/25 請願第4号
「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めるご意見について」

産業建設常任委員会は、9月25日に市役所で請願審査を行いました。

請願第4号「国道343号新笹ノ田トンネルの早期事業化を求めるご意見について」は、県内陸部と沿岸部を結び、物流や観光に資するほか、冬期間の交通難所を解消するため、また、平成26年には9万人を超える署名が集まつたことなどから、早期事業化を進める意見書を関係機関への提出を求めるものでした。

審査では、請願者からの趣旨説明、紹介議員からの補足説明の後、市担当課への質疑を行いました。

委員からは、事業化までの経緯やトンネル開通後の展望、現在使用しているループ橋の耐用年数などの説明を求めま

した。

その後の意見交換では、新笹ノ田トンネルの早期事業化は住民からの強い要望であり、観光・商業面だけで無く災害対応という面においても必要性の高い整備であるとし、全委員の賛成により採択すべきものと決しました。

所管事務調査中間報告

委員の任期である、この2年間は、産業振興をテーマに掲げ、行政視察、及び漁業者や商工団体などへの所管事務調査を行ってきました。

その結果、「一次産業省力化機械導入補助制度の創設について」を市長へ政策提言し、同補助制度を実現しました。さらに、本委員会からの発議で「陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例」



新笹ノ田トンネルの早期事業化が待たれる国道343号線
(矢作町)

を制定しました。同条例は、市内経済循環の促進と併せ、事業者には国補助事業の活用などにつながるものです。

委員長
副委員長
俊純
秀一郎
坂勢
野林川
大伊
菅小及
修一
俊
坂
勢
野
林
川
大
伊
菅
小
及
修



意見書をご覧いただけます

教育民生常任委員会では、「陸前高田市こども基本条例」の制定を目指し、これまで調査・検討を重ねてきました。

7月には委員会で起草した条例案について、パブリックコメントを実施しました。寄せられたご意見の中には、「こどもが地域に貢献しなければならないといったプレッシャーを与えない表現とすべき」、「こどもの発達特性による環境との不調和を保護者だけの責任としない記述とすべき」といった趣旨のものがありました。

これらの意見を踏まえ、修正を行い、修正後の条例案は、9月30日の本会議で発議し、全会一致で可決されました。今

後は、本条例の基本理念のもと、地域全体で子育てこどもの成長を支えるまちづくりの推進が期待されます。また、議会としても、条例に基づき、積極的な政策提言や要望活動に取り組んでいくことを中間報告としてまとめました。

教育民生常任委員会に付託された請願について、9月25日に請願第2号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求めるご意見について」を、9月26日に請願第3号「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」をそれぞれ審査しました。

請願第2号の審査では、「指導内容を精選すること」により必要な時間を確立す

べき」との意見や、「不登校がカリキュラム・オーバーロードだけの理由とすることが疑問が残る」等の意見が出されました。採決の結果、賛成少数のため不採択と決しました。

請願第3号の審査では、「介護事業所の経営環境及び職員の待遇の改善の実現は賛成すべき」との意見や、「引き下げの撤回に関しては、地域の事情を考えると厳しいものがあり妥当とも考えるが、引き上げについては、財源を含めて検討する必要がある」との意見が出されました。採決の結果、賛成少数のため不採択と決しました。

教育民生

所管事務調査

陸前高田市こども基本条例

1/1 ➡ 1/30 パブリックコメントの実施

8/20 陸前高田市こども基本条例について
(パブコメで寄せられたご意見について)

9/4 所管事務調査中間報告について

請願審査

9/25 請願第2号
『カリキュラム・オーバーロード』の改善を求めるご意見について

9/26 請願第3号
「訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うこと」を求めるご意見について



こども基本条例起草に向けた語る会

委員長	佐々木	義子
副委員長	坪大	良廣
	佐々木	紀喜
	野田	彦
	藤伊	涼
	福	涼
	藤	良
		広
		利
		明

新たな
視点

委員会構成が変わりました

議員任期後半も積極的に

政策提言を行います



委員長 佐々木 良 麻

副委員長 大 坪 涼 子

委員 小林 卓

委員 福田 利 喜

委員 及川 修 一

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は、保健課、福祉課、こころの復興支援室、子ども未来課、市民課、教育総務課及び学校教育課の所管に属する事項を担当します。

前期は、陸前高田市こども基本条例を制定しました。



委員長 福田 利 喜

副委員長 木村 聰

委員 佐々木 良 麻

委員 菅野 秀一郎

委員 大坪 涼子

委員 藤倉 泰治

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営全般について協議をする委員会です。代表的なものは定例会や臨時会の日程を決めることや、議長から議会運営などに関する諮詢されたことを担当します。委員は各会派から選出されます。



委員長 菅野 秀一郎

副委員長 伊勢 純

委員 木村 聰

委員 大和田 加代子

委員 中野 貴徳

委員 大坂 俊

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は、商工観光課、農林課、水産課、建設課、住宅政策室、土地活用推進課、上下水道課及び農業委員会の所管に属する事項を担当します。

前期は、陸前高田市中小企業・小規模企業振興条例を制定しました。



委員長 藤倉 泰治

副委員長 佐々木 一義

委員 菅野 広紀

委員 伊藤 明彦

委員 鵜浦 昌也

総務常任委員会

総務常任委員会は、企画政策課、脱炭素推進室、総務課、財政課、まちづくり推進課、税務課、交流推進課、会計課、防災課、消防本部、選舉管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項を担当します。

議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第133号のクイズの答えとともに寄せられたご意見を紹介します。



参院選の投票が期日前投票所のアバッセでできてたいへん良かったです。日常の買い物ついでに投票した人が私の周りでも結構いました。タクシー券の利用はどうだったでしょうか。経費はかなりかかったと思います。改善の必要あり？
(高田町女性 80代)

「陸前高田の魅力を語る」では地元で活躍する青年のお話に、高田市を思う気持ちが心に伝わってきました。本当に嬉しいですね。陸前高田が魅力ある市になるよう、一市民として頑っています。
(広田町女性 70代)



行政へ有権者の考えを反映、または修正していく機能を持つ議会での活動プロセスがよく分かり、興味深く拝読しました。
(市外男性 30代)

マイナカードに関して、役所以外に郵便局でも対応できる仕組みは、市民にとっても便利であると感じます。

高規格救急車更新の件は、高額品でも命にかかることですから、市民も賛成するはずです。素敵な考え方が多い議員さんに感謝です。震災からの復興、頑張って欲しいです。応援しています。
(市外男性 40代)



◎議会だよりクイズ

○の中にはどんなひらがなが入るでしょうか？

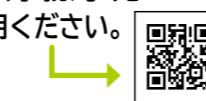
令和7年第3回定例会では議員発議により

「陸前高田市〇〇〇基本条例」が制定されました。

応募方法

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。）※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL こちらのメール送信フォームをご利用ください。
しめきり 令和7年12月8日（当日消印有効）



議会だより第133号クイズの答え

answer

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか？

答え 矢作・広田



表紙の写真

ひとり6粒のもみから育てたお米をみんなで収穫。気仙小学校の5・6年生は、地元の名人・菅野剛さんからお米作りを学んでいます。（10月14日 気仙小学校にて撮影）

クレセントシティ市訪問団と交流を深める

Welcome to Rikuzentakata



実習船かもめ返還に尽力した
マッケンジーさん



地域の話題で盛り上がり
仲良く歓談

本市と姉妹都市である米国加州北部デルノーテ郡クレセントシティ市から訪問団26人を迎えた。9月11日、食彩工房海浜館にて本市議会議員との交流会を開催しました。会場では言葉の壁を越え、改めて両市の絆を確かめ合い、提供された日本食の説明や、余興の「仲町虎舞」披露のあと、

仲町虎舞も歓迎

初めて見る気仙町仲町虎舞に



参加者が虎舞と一緒に舞うなど、終始なごやかに幕を閉じました。

YouTube

配信のお知らせ

議会だよりとともに、YouTubeをご覧になりませんか。一般質問など見比べも含め、皆さまのご意見をお待ちしております。
※市ホームページ→市議会→音声中継（YouTube 陸前高田市議会）をクリックすると陸前高田市議会のチャンネルに移動し視聴したい会議を選んでご覧いただけます。

○マイナンバーカードを
活用した救急業務（マイ
ナ救急）の実証事業につ
いて 9月30日

○陸前高田市A-Oンデ
マンド交通導入実証運行
について 9月4日

○令和7年度岩手県に對
する要望の実施について
7月22日

令和7年7月以降に市
当局から提出された案件
をお知らせします。

全員協議会

議会の動き Check!

7月 July

- 1日 議会だより特別委員会
- 2日 議会だより特別委員会
- 6日 水防演習（議長ほか）
- 9日 議会だより特別委員会
- 10日 議会運営委員会／議会だより特別委員会／気仙地区議会議員協議会第2回役員会（正副議長）／広聴広報特別委員会／議員研修会（政策サイクル）
- 11日 令和7年度道路関係縦軸2団体合同総会（議長）
- 13日 立教大学陸前高田サテライト開所式
- 14日 議会だより特別委員会
- 15日 令和7年度国道340号整備促進期成同盟会定期総会（議長）
- 16日 第63回知事を囲む懇談会（議長）
- 18日 高田松原海水浴場海開き式／広田海水浴場海開き式（議長他）
- 19日 チャオチャオ陸前高田道中おどり（議員有志）
- 22日 全員協議会／広聴広報特別委員会／議会だより特別委員会
- 25日 議会運営委員会／議会だより特別委員会

8月 August

- 5日 岩手・宮城県際市町議会議長会総会（正副議長）
- 7日～8日 名古屋市会来市
- 12日 岩手県沿岸都市議会連絡会議総会（正副議長）
- 18日 気仙地区議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会／気仙地区議会議員協議会総会
- 19日 議会だより特別委員会／全員協議会／陸前高田市議会・奥州市議会・大船渡市議会議員研修会
- 20日 教育民生常任委員会
- 27日～28日 第20回全国市議会議長会研究フォーラム（議長）
- 29日 会派代表者会／対県要望（正副議長）

9月 September

- 1日 議会運営委員会
- 4日 本会議／全員協議会／市政調査会理事会／各常任委員会
- 5日 決算等特別委員会／市政調査会
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）／クレセントシティ市訪問団交流会
- 12日 決算等特別委員会
- 17日 議会運営委員会／本会議／決算等特別委員会／広聴広報特別委員会
- 18日 決算等特別委員会／広聴広報特別委員会理事会
- 19日 決算等特別委員会
- 24日 全員協議会
- 25日 各常任委員会
- 26日 市民と語る小委員会／議会だより編集小委員会／教育民生常任委員会
- 29日 三陸沿岸道路東松島山田間機能強化連絡協議会総会（議長）
- 30日 本会議／全員協議会／市政調査会／広聴広報特別委員会／議会だより編集小委員会

議会だより編集小委員会



第22回

★市内の団体や個人を紹介します。

がんばってます!!

◆猫雑貨専門店 one scene.

店主 清水健太さん

清水健太さんは東京都出身の36歳。2014年に本市へ移住し、2019年にチャレンジショップでフォトスタジオを起業。この夏、同所を卒業し、広田町に保護猫活動の拠点となるお店をオープンしました。今回は、様々なネコ雑貨が並ぶ店内で話をうかがいました。



ネコとの関わりは12年前、捨て猫を保護したことがきっかけです。当初は保護活動を意識していませんでしたが、知人が見つけた捨て猫の里親募集をSNSに投稿したところ相談が増え、自然と今の活動につながりました。

移住当初はNPOに勤め、寄付の持続性について考える

機会がありました。寄付に頼らず活動を続ける方法として、チャレンジショップで行っていた写真や動画の仕事と雑貨販売を組み合わせて保護猫の資金を作る仕組みを考えました。これが、今のお店のコンセプトにつながっています。

お店の名前は「ワンシーン」。保護猫が主演、里親が出演者、雑貨を買っててくれる人がスポンサーとして関わり、1匹のネコが里親に迎えられるまでを映画のワンシーンとして捉える意味を込めています。

市内では多頭飼育崩壊や高齢化でペットが取り残される課題もあります。現在は7匹の保護猫がいて、これ以上は増やせませんが、里親募集などの情報発信は積極的に行っていきたいと思っています。このお店がネコ好きの皆さんとの交流の場になればと願っています。

議会へひとこと

安い家賃で新規事業を始められるチャレンジショップを活用できたことは良かったのですが、6年以内に卒業する必要があります。陸前高田は、貸店舗が少ないため新たに店舗を設けることになり、資金面の課題を感じました。入居者が資金調達のアドバイスを受けられる機会があると、より助かると思います。

9月定例会において、常任委員会をはじめ議会の様々な構成員が変わりました。議会だよりの編集発行についても、これまでの議会だより特別委員会から、広聴広報特別委員会の小委員会として新たな組織となりました。今後は、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるように、広聴機能と広報機能を結び、皆さんの声を政策に反映してまいります。市議会だよりをこれまで以上に手に取ってもらうため、工夫してまいります。（委員長 福田利喜）

